

**氏名：** 小澤太郎（おざわたろう）

英文表記： Taro Ozawa

**現職の所属・役職：** 慶應義塾大学 総合政策学部教授 兼 大学院政策・メディア研究科委員

英文表記：

Professor

Faculty of Policy Management, Graduate School of Media and Governance

Keio University

**専門分野：** 公共経済学（公共選択論）、応用ゲーム理論（戦略研究）

Public Economics (Public Choice), Applied Game Theory (Strategic Studies)

**主たる研究テーマ：** AI時代における公共選択と戦略研究

Public Choice and Strategic Studies in the Age of Artificial Intelligence

**略歴（学歴・職歴）：**

1980年3月 慶應義塾大学経済学部卒業

1982年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科理論経済学専攻修士課程修了

1985年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了・単位取得退学

1985年4月～1986年3月 法政大学経済学部特別研究助手

1986年4月～1994年3月 法政大学経済学部助教授

1994年4月～2003年3月 慶應義塾大学総合政策学部助教授 兼 大学院政策・メディア研究科委員

2003年4月～ 慶應義塾大学総合政策学部教授 兼 大学院政策・メディア研究科委員

**主たる著書・論文等（5点以内）：**

『テレコミュニケーションの経済学：寡占と規制の世界』（林敏彦・松浦克己編、他と共著、東洋経済新報社、1992年）：第4章「製品差別化と供給最大化仮説」、pp.107-122.

『公共経済学の理論と実際』（中村慎助氏・グレーヴァ香子氏と共編著、東洋経済新報社、2003年）：第4章「政策科学と公共選択論へのアプローチ」、pp.83-110.

『総合政策学の最先端II：インターネット社会・組織革新・SFC教育』（金子郁容編、他と共著、慶應義塾大学出版会、2003年）：第7章「電子商取引の発展と経済構造の変化」、pp.141-162.

『理論経済学の復権』（グレーヴァ香子氏・中村慎助氏と共編著、慶應義塾大学出版会、2008年）：第1章「ゲーム理論リテラシー」、pp.1-38.

『経済政策論：日本と世界が直面する諸課題』（瀧澤弘和氏・塚原康博氏・中川雅之氏・前田章氏・山下一仁氏と共著、慶應義塾大学出版会、2016年）：第12章「望ましい政策の実現がなぜ難しいのか」、pp.317-343.

**WEB ページ（任意）：**

[https://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty\\_profile/cgi/f\\_profile.cgi?id=059a062626be056c](https://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/cgi/f_profile.cgi?id=059a062626be056c)